



パレードに向かう町保護司会のみなさん

地域ぐるみで明るい社会を

社会を明るくする運動出発式

第59回「社会を明るくする運動」の啓発パレード出発式が、7月17日役場玄関前で関係者60人が参加して行われました（町保護司会主催）。

町保護司会の西田一郎会長が「犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に力を合わせて取り組み、明るい地域社会実現のために活動を推進していきたい」と決意を述べ、住永町長が「みなさんの日頃の地道な活動に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。わたしたち町の職員も、より一層認識を深め、自分たちひとりひとりの問題として真剣に取り組めます」と激励しました。

パレードは、車両3台を連ねて町内一円を巡回しました。

長年の活動に感謝状

はまだ まさゆき
濱田 雅之さん（平田下）

本年6月に人権擁護委員の任期を満了された平田下の濱田雅之さんに対し7月15日、法務大臣から感謝状が贈られました。

濱田さんは平成15年7月から平成21年6月までの6年にわたり、人権擁護委員として人権の擁護と人権思想の普及・高揚に努められました。

町長室で法務局御船支局長から感謝状が伝達され、濱田さんは「表彰ありがとうございます。命の大切さ、心豊かな地域社会実現のため、これからも人権啓発活動に取り組んでいきたい」と今後の抱負を話していました。



人権擁護委員として活躍された濱田さん（写真中央）



グラウンドゴルフを楽しむ参加者たち

グラウンド誕生 1周年を祝う

7月11日、飯野校区西地区グラウンド（小池秋永）で、同グラウンド完成から1周年を祝うグラウンドゴルフ大会がにぎやかに開催されました。

大会には、地域で腕自慢のお年寄り約100人が参加する中、住永町長が「グラウンドを大いに活用し、いっぱい体を動かしてください」とあいさつ。

芝が一面に張られたグラウンドで参加者たちは、ホールインワンを目指し、楽しくクラブを振っていました。

熊本弁カルタで 楽しく交流

「熊本弁カルタ」を使ったカルタ大会が6月20日、馬水南公民館で開催されました。

これは、馬水南区の区長・倍英文さんが中心になり、大人と子どもが少しでも交流できたと企画したもので、当日は60人が参加しました。

熊本弁がカセットから流れると、参加者たちは、われ先にと「取り札」に手を伸ばしていました。普通のカルタと勝手が違うのか、お手つきがあったりのにぎやかな対戦となりました。



真剣に取り札を見つめる子どもたち